

ちょっといい山 2019/5/25/SAT-27/MON

すぐに登れる 300 名山・山伏 2,013m
稜線歩きの醍醐味 200 名山・大無間山 2,330m
南アルプスの 300 名山・高塚山 1,621m

山の虫クレマントクラブ（略称 YMCC） 川原健一 同行：川原 薫

週末に 1 日の有給休暇を加えて少し遠い山に行く。そんな設定で5月中盤と後半に 2 回山行を行った。初回は中央分水嶺上の名山・鷲ヶ岳とひるがのの名山・大日ヶ岳。2 回目は南アルプスの名山・山伏、大無間山、そして高塚山。今回は南アルプスの山行についてちょっといい山を語る。



山伏山頂付近を歩く

山伏（やんぶし）

5/25/土曜日/晴れ

駐車場からわずかに歩いただけで南アルプスの 300 名山の山頂に立ててしまう。それが山伏（やんぶし）2,013 mだ。第 2 名新新静岡インターから安倍川沿いの安倍街道を遡る。登山口へ向かう道の入り口に通行止めを知らせる看板。どうやら大迂回せねばならないようだ。一部未舗装部分があったが、幸いさほどの支障もなく登山口の百畳峠まで車は走った。

ガイドブックでは往復 1 時間 30 分。わずか 30 分ほどで山頂に立ってしまった。夕方近い山頂に一人だけ登山者がいた。静かな山頂からは富士山や南アルプスが望める。富士はガスがかかってわずかししか見えなかった。山頂一帯はヤナギランの自生地、鹿の食害を避けるために柵が廻されている。時期ではないので花は見られなかったが、笹の間から懸命に背を伸ばすしなやかな花茎を確認した。

【コースタイム】

百畳峠 14:54

15:30 山伏

16:24 百畳峠

山伏を下りて大無間山登山口に向かう。燃料の残りを気にしながら走るが、GS まで 16 km の看板のところで燃料計は無情にも 0 を指してしまった。何とか井川の GS に滑り込み満タン給油。

登山口は駐車場やトイレはあるが登山客用ではないとのこと。やむなくもと来た道を引き返し、道路端の適地で満天の星を楽しみながら車中泊。思いもかけずいい夜となった。

大無間山

5/26/日曜日/晴れ

大無間山は昨日の山伏とは違い、コースタイム往復 14 時間 15 分の長丁場。南アルプスキャンプ場に車を止めさせてもらい、早々に発つ。

集落を抜け、林道を渡るところで数

名の登山者に会う。彼らは近くの神社の駐車場で車中泊したとのこと。ガイドブックにはなかった情報。ネット探索をしなかったのが痛かった。

小無間小屋までは急勾配の登山道が続く。避難小屋を過ぎ、少しアップダウンすると有名な大ガシ。登り始めの岩陰にサクラソウの群落があり、思わず写真撮影。手を離したら危ないがな。

大ガシを越えるとアップダウンは優しくなる。概ね水平の尾根道をゆったりと歩く。山頂近くは雪渓が残り、道が不明瞭だが、スマホマップのGPS軌跡が登山道を逸れないように歩く。



中無間山先のガシ場から大無間山を望む

山頂の眺めはよくないが、広くて気持ちの良いところ。登り始めから抜きつ抜かれつで歩いていたNTT 勤めと言う単同行者さんが待っていた。麓からここまでドコモは圏内とのこと。機材をもって半分仕事の山登りだとのことだが、一割ほどは遊びが勝っていそうだ。私達二人のペースが自分とほぼ同じくらいなのに驚いたらしく、「失礼ですがお歳は」と聞いてきた。2回目の定年を迎えつつありますと言うと大いに感心してくれた。まだまだ私達はやれるようだ。

【コースタイム】

南ALPS オートキャンプ場 04:40

07:23 小無間小屋

09:31 小無間山

11:20 大無間山 12:00

17:00 南ALPS オートキャンプ場

温泉と食堂が良いから下山したらどうですか、と千頭の道の駅をNTTの人が教えてくれたのでそこで落ち合うことにした。どうやらビールで乾杯したいらしい。ところが着いてみると彼の車は見当たらない。道の駅の温泉と食堂も、それらしきものは見つけられず、やむをなく別の温泉と食堂を自分達で探す羽目に。温泉はこぢんまりとしているが綺麗なところで入浴料金150円。食堂はどうやら鉄チャンの間では有名な所で、美味しい食事でありつけた。

明日の食料調達のためにコンビニを探して走る。ずいぶん走って、二駅ほど先の辺りで見つける。その少し先に、わかりにくかったが、道の駅を発見。誰もいない道の駅の綺麗なトイレ横に駐車し、今宵も満天の星のもと、眠りに落ちるのであった。

高塚山

5/27/月曜日/晴れ

高塚山は林道の状態が気になっていたが、NTTの人の林道情報では昨年までは登山口まで問題無しとのことだった。しかし、途中まで行くと崖崩れで通行止めとなっていた。引き返し、大札山登山口なるものを発見。ここから登り、尾根伝いに行けば高塚山を往復できそう。

本日も長丁場となりそうだが歩き始める。新緑の中、紅ドウダンツツジやレンゲツツジが美しい。山頂からは富士山が今日のはっきり見えた。林道へ下りる。林道は大いに荒れていて、土砂崩れがなくてもここから先は行けそうもなかった。

高塚山の前衛の蕎麦粒山へ登り返す。イワカガミの群落を見て山頂に近づくと白い花をしたシロヤシオ（五葉ツツジ）が際立ってくる。見事な群落だ。これが高塚山の山頂まで続いた。



シロヤシオが咲き誇る高塚山の稜線

高塚山の山頂はここも大無限山同様展望が利かない。けれどもコバイケイソウの群落に囲まれ、気持ちの良い山頂広場となっている。時間は遅くなったが、ここまでの行程は楽しかった。さあ、帰ろう。

来た道を蕎麦粒山登山口まで引き返す。土砂崩れ箇所は通過できるものと推定し林道を歩く。岩清水となって流れているところで、帰ってからの水割

りにペットボトルに南アルプスの天然水を組む。大札山の西肩尾根登山口は駐車場やトイレ、休憩所が見事に整備されている。ここから30分で山頂に至るようだ。土砂崩れがなければ大勢の人が今日もここに来ていただろう。私達も大きなアルバイトをせず登れたのか。けれども人跡少ない南アルプスではあるものの、300名山で今日は誰にも会うことがなかった。大いなるアルバイトで長い時間山を楽しめたことに納得し、十分に満足して夕闇迫る林道を歩き下った。

【コースタイム】

- 大札山登山口 07:22
- 08:55 大札山
- 10:20 蕎麦粒山登山口
- 12:00 蕎麦粒山
- 14:16 高塚山 14:35
- 17:20 蕎麦粒山登山口（林道）
- 17:58 大札山西肩登山口
- 18:48 大札山登山口

